

【2026 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等		
ソーシャルワーク演習 (専門) B		選択	2	4	前期		
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー				
宮澤 江梨子	講師控室	kyoumu	随時メールにて質問等受付				
授業の目的・概要	<p><目的> ソーシャルワーカーとしての実践力を涵養するため、ソーシャルワーク実践における基本的な対人援助技術や方法、対象者理解等について、視聴覚教材や演習を通して学ぶ。そして、ソーシャルワークの理論・価値を実際の現場で具体化していくための知識や技術を習得することを目的とする。</p> <p><方法> 精神保健福祉に関する多様な支援の場ごとの援助技術について、教科書の事例及び精神保健福祉士業務指針に掲載の事例を基に個人のワーク及びグループワーク等の演習を実施する。また、成果発表を通して学び・気づきの共有を図る。</p>						
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> その他 ()						
学習上の助言	ソーシャルワーク及び精神保健福祉に関する知識・技術を理解している前提で進めるため、不安な部分については復習をしておくこと。						
教科書	最新 精神保健福祉士養成講座 7 ソーシャルワーク演習 [精神専門] /編：一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟/中央法規出版						
参考書	なし						
外部教材	なし						
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針			
①	対人援助職に必要な援助実践モデルやアプローチ、課題、対象者を想定し理解できる。			HSU(1)、(2)、HC(1)、(2)			
②	さまざまな援助実践モデルやアプローチについて基本的な実践を行うことができる。			HSU(5)、HC(3)、(5)			
③	自分が感じたことを言葉で表現し伝え合うことで相互に学び合うことができる。			HSU(4)、HC(4)、(6)			
④							
授 業 計 画							
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)				
1	オリエンテーション：講義概要、進め方、評価方法等を理解する。	講義・演習	「ソーシャルワーク演習」の振り返りを行う。		6		
2	【精神科医療機関におけるソーシャルワーク実践①】 精神科における外来相談の事例からアプローチを検討する。	演習 グループワーク	講義中に指示する用語や制度について復習・予習をする。		4		
3	【精神科医療機関におけるソーシャルワーク実践②】 依存症者の回復に向けた支援について検討する。	演習 グループワーク			4		
4	【精神科医療機関におけるソーシャルワーク実践③】 精神医療のイメージと普及啓発について考える。	演習 グループワーク			4		
5	【地域分野のソーシャルワーク実践①】 働くことへの支援について検討する。	演習 グループワーク			4		
6	【地域分野のソーシャルワーク実践②】 危機介入と医療機関との連携について検討する。	演習 グループワーク			4		
7	【行政機関のソーシャルワーク実践①】 保健所における自殺予防と普及啓発について検討する。	演習 グループワーク			4		
8	【行政機関のソーシャルワーク実践②】 ひきこもりに対する支援について検討する。	演習 グループワーク			4		
9	【行政機関のソーシャルワーク実践③】 精神医療審査会における退院請求について検討する。	演習 グループワーク			4		
10	【学校・教育機関のソーシャルワーク実践①】 親がメンタルの問題を抱える家庭への支援について検討する。	演習 グループワーク			4		
11	【学校・教育機関のソーシャルワーク実践①】 合理的配慮が必要な学生の支援について検討する。	演習 グループワーク			4		
12	【司法領域のソーシャルワーク実践】 ハームリダクションについて考える。	演習 グループワーク			4		
13	【産業分野のソーシャルワーク実践】 受療・休職・復職支援について検討する。	演習 グループワーク			4		
14	【分野横断のソーシャルワーク実践】 色々な機関の目線から事例について検討する。	演習 グループワーク			4		
15	全体のまとめと振り返りを行う。	講義・演習			全体の振り返りをする。		2
試							

【2026 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

達成度評価								
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計	
		0	0	40	0	60	100	
総合 力 指 標	知識・技術力	0	0	10	0	10	20	
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	10	10	
	協調性・リーダーシップ	0	0	10	0	10	20	
	発表・表現伝達する力	0	0	20	0	0	20	
	コミュニケーション力	0	0	0	0	10	10	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10	
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	10	10	
評価のポイント						フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点						
試験	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
レポート	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
成果発表	①	✓	演習、グループワークの報告での姿勢や内容等により評価する。評価は他の学生の発表に対する反応（意見、質問等）、リアクション等も対象とする。				他の学生からの反応も踏まえて講義中または次の講義時にフィードバックを行う。	
	②	✓						
	③	✓						
	④							
	⑤							
	⑥							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
その他	①	✓	毎回の講義終了後に提出するリアクションペーパー（30点）と授業への参加態度・意欲（30点）で評価を行う。				リアクションペーパーについては、次の講義の始めにフィードバックを行う。	
	②	✓						
	③	✓						
	④							
	⑤							
	⑥							
備 考								
他 担 当 教 員	なし							
教員の実務経験								
実践的授業の内容								
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・「ソーシャルワーク演習」「ソーシャルワーク演習（専門）A」の単位を修得していることが履修の条件となる。 ・精神保健福祉士国家試験受験資格取得の希望者は必ず履修すること。 ・教員が示す授業方法を遵守することとし、守れない場合には授業への参加を認めない場合があります。 ・講義への意欲がみられない場合や他の学生の迷惑となる行為が見受けられた場合は退室を指示する場合があります。 							